

第161回 日本輸血・細胞治療学会 関東甲信越支部例会

現場で活かす輸血・細胞治療 –臨床効果と安全性の最前線–

会 期 2026年2月21日（土） 9:45 ～ 17:00

会 場 東京科学大学 鈴木章夫記念講堂
（東京都文京区湯島1-5-45 湯島キャンパス内 M&Dタワー）

例会長 大友 直樹（東京科学大学病院 輸血・細胞治療センター）

特別講演 外傷診療における止血と輸血戦略
森下 幸治 先生（東京科学大学病院 救命救急センター）

教育講演 ECP治療とアフエーシスナース
松本 真弓 先生（神戸神鋼病院 血液病センター）

シンポジウムI 安全な輸血看護の実践と課題
・多段階チェックシステムによる輸血実施の質向上への取り組み
・輸血関連インシデントレポートの実態と対応
・当院における臨床輸血看護師の活動報告 ～輸血ラウンド会議の重要性～

シンポジウムII 血小板輸血の最前線
・血小板輸血の適応と実際 –血小板製剤の使用ガイドライン2025 改訂のポイント–
・血小板不応へ検査からのアプローチ
・血小板製剤の細菌スクリーニングと安全性確保

共催セミナー DLBCLにおけるCAR T細胞療法の運用 ～チーム医療の実践～
萩原 真紀 先生（横浜市立大学病院 輸血・細胞治療部）

＊一般演題あり

参加費：2,000円（会員、非会員問わず）不課税

参加登録方法

QRより登録フォームにアクセスし必要事項の入力をお願いします。
登録締切：2026年1月31日（土）、振込期限：2026年2月6日（金）
振込者氏名：会員番号＋カナ氏名（非会員は99＋カナ氏名）
振込先：三井住友銀行 神田支店 普通 3724241
第161回日本輸血細胞治療学会関東甲信越支部例会例会長大友直樹

問合先：東京科学大学病院 輸血・細胞治療センター内
第161回 日本輸血・細胞治療学会 関東甲信越支部例会事務局
TEL：03-5803-5646 E-mail：mh_tmct@ml.tmd.ac.jp

第161回 日本輸血・細胞治療学会 関
東甲信越支部例会 参加申込



<https://forms.office.com/r/9B748A5URu>

第 161 回 日本輸血・細胞治療学会 関東甲信越支部例会
参加登録のご案内

第 161 回 日本輸血・細胞治療学会 関東甲信越支部例会はハイブリッド形式での開催を予定しております。
受付は、現地参加と WEB 参加の 2 種類設けますので、ご都合に合わせてご登録ください（登録の時点における「予定」で結構です）。現地来場予定者数の大まかな把握のため、ご協力をお願いいたします。
なおプログラムの詳細は、1 月中旬以降にホームページに掲載いたしますのでご確認ください。

記

日 時	2026 年 2 月 21 日（土）9：45 ～ 17：00
場 所	東京科学大学 鈴木章夫記念講堂 (湯島キャンパス M&D タワー2 階)
ア ク セ ス	・ JR 中央線 御茶ノ水駅下車 お茶の水橋口より徒歩 3 分 ・ 地下鉄丸ノ内線 御茶ノ水駅下車 徒歩 1 分（荻窪方面行きホーム改札に直結） ・ 地下鉄千代田線 新御茶ノ水駅下車 徒歩 5 分
例 会 長	大友 直樹（東京科学大学病院 輸血・細胞治療センター）
テ ー マ	『現場で活かす輸血・細胞治療 - 臨床効果と安全性の最前線 - 』
プ ロ グ ラ ム	① 特別講演 外傷診療における止血と輸血戦略 ② 教育講演 ECP 治療とアフエレーシスナース ③ シンポジウム I 安全な輸血看護の実践と課題 ④ シンポジウム II 血小板輸血の最前線 ⑤ 共催セミナー DLBCL における CAR T 細胞療法の運用 ～チーム医療の実践～ ⑥ 一般演題

参加登録方法 QR または URL より登録フォームにアクセスし必要事項の入力をお願いします。

<https://forms.office.com/r/9B748A5URu>



申 込 期 限 2026 年 1 月 31 日（土）17：00

振 込 期 限 2026 年 2 月 6 日（金）

参 加 費 2,000 円（会員、非会員問わず）不課税

【振込者氏名】 会員番号(5 桁)+カナ氏名 (例) 12345 ユヅハコ (非会員は 99)

*振込後のキャンセルは対応いたしかねます。

*参加費振込を確認後、ZOOM ウェビナー視聴用の URL を配信します。

*プログラムの冊子は会場にて配布いたします。

【振込先】 銀 行 名 三井住友銀行（金融機関コード：0009）

支 店 名 神田支店（店番号：219）

振込口座 普通 3724241

口座名義 第 161 回日本輸血細胞治療学会関東甲信越支部例会 例会長 大友 直樹

(ダ`ヒャクロジ`ユヰイカイ`ホシケツサ`イホ`ウチリョウガ`ツカイカントウコウシエツサ`レイカイレイイチャウオホモナキ)

以上

【問い合わせ先】	第 161 回 日本輸血・細胞治療学会 関東甲信越支部例会 例会事務局 東京科学大学病院 輸血・細胞治療センター 新開・相川 TEL：03-5803-5646 E-mail：mh_tmct@ml.tmd.ac.jp
----------	---

開催概要

名 称 : 第 161 回 日本輸血・細胞治療学会 関東甲信越支部例会
日 時 : 2026 年 2 月 21 日 (土) 9 : 45 ~ 17 : 00
会 場 : 東京科学大学 鈴木章夫記念講堂
ハイブリット開催 (現地 + リアルタイム Web 配信)
例 会 長 : 大友 直樹 (東京科学大学病院 輸血・細胞治療センター)
テ ー マ : 『現場で活かす輸血・細胞治療 - 臨床効果と安全性の最前線 -』

◆ 参加登録

申込期限 : 2026 年 1 月 31 日 (土) 17 : 00
振込期限 : 2026 年 2 月 6 日 (金)
参加費 : 2,000 円 (会員・非会員問わず、不課税)

*お支払い方法は銀行振り込みのみです。

万が一、上記の期限を超えた場合、参加登録を完結し振込を済ませた上で例会事務局にご連絡ください。なお、振込後のキャンセルはできません。

・参加登録方法のご案内

参加登録は、日本輸血・細胞治療学会 関東甲信越支部の HP にある
第 161 回 支部例会 > 参加登録のご案内 (第 2 報) の
参加登録フォーム (QR / URL) よりお申し込みください。
<https://forms.office.com/r/9B748A5URu>



登録フォームから登録できない方は、「第 161 回 日本輸血・細胞治療学会 関東甲信越支部例会事務局」にメールでお問い合わせください。

・振込のご案内

【振込者氏名】

学会会員番号 (5 桁) + カナ氏名

(例) 12345 ユケツハナコ (非会員は 99)

【振込先】

銀 行 名 : 三井住友銀行 (金融機関コード : 0009)

支 店 名 : 神田支店 (店番号 : 219)

口座番号 : 普通 3724241

口座名義 : 第 161 回日本輸血細胞治療学会関東甲信越支部例会 例会長 大友直樹

(タ イハク ロクジ ユイチ カイ ホンユクツハナコ ヲウチヨウ カ ッカイ アントウ コウシン エツシ ブレイカイ イチヨウ オトモナリ)

◆ 現地参加・Web 配信のご案内

- ・ 参加費を振り込まれた方全員に 2 月 16 日（月）Zoom ウェビナー視聴者用 URL を配信いたします。2 月 17 日（火）以降、URL の案内が届かない場合は、事務局にメールでお問合せください。なお、あらかじめ Zoom のバージョンアップをお願いします。
- ・ 当日の質問は Q&A（質疑応答）よりチャット機能を利用してお願いします。
- ・ 参加方法の変更は、2 月 16 日（月）までに事務局へご連絡ください。
- ・ 当日の現地受付は、9：00 より開始します。

◆ 抄録集について

- ・ プログラム冊子は現地受付にて配布いたします。PDF 版（簡易版）は学会ホームページよりダウンロードをお願いいたします。

◆ 領収書および参加証明書について

- ・ 現地参加の方は受付にてお渡しいたします。Web 参加の方には後日ダウンロード用の URL をご案内させていただきます。お手数ですがご自身で印刷をお願いいたします。

◆ 演者の皆様へのお願い（発表スライドについて）

- ・ 発表用スライド格納用に Box の URL を配信させていただきます。
2 月 13 日（金）までにアップロードをお願いします。なお発表スライドはマイクロソフト社の PowerPoint で作成したものに限りします。
- ・ 利益相反（COI）：COI に関する指針細則に従い、学会発表の際に COI の開示をお願いいたします。

<https://yuketsu.jstmct.or.jp/wp-content/uploads/2024/06/d9f4b254498abb8439121209376d070f.pdf>

◆ 問い合わせ先

東京科学大学病院輸血・細胞治療センター内

第 161 回 日本輸血・細胞治療学会 関東甲信越支部例会事務局 新開・相川

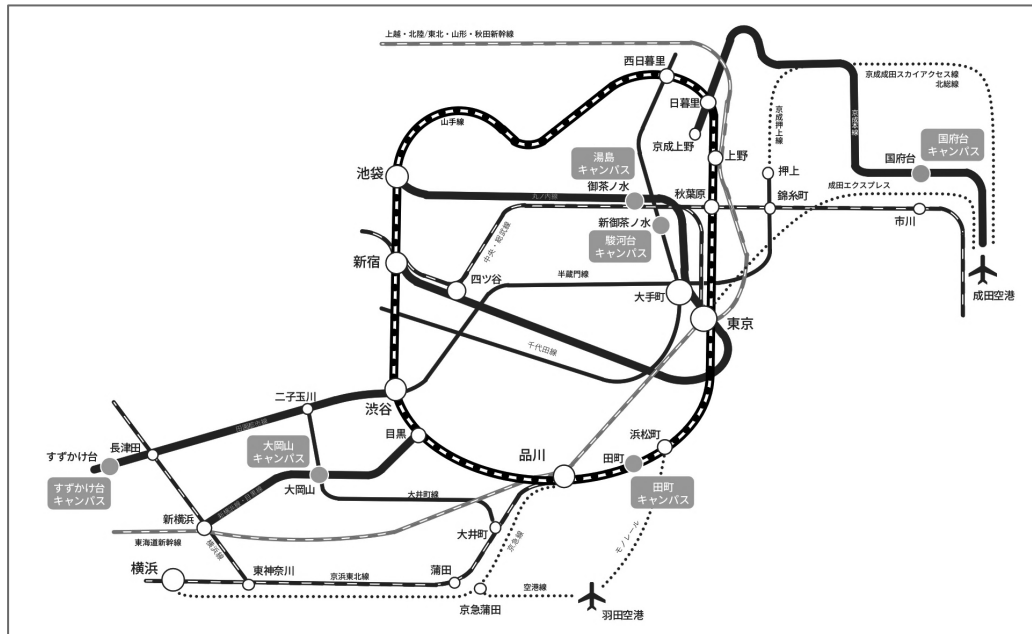
〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

Tel：03-5803-5646

E-mail：mh_tmct@ml.tmd.ac.jp

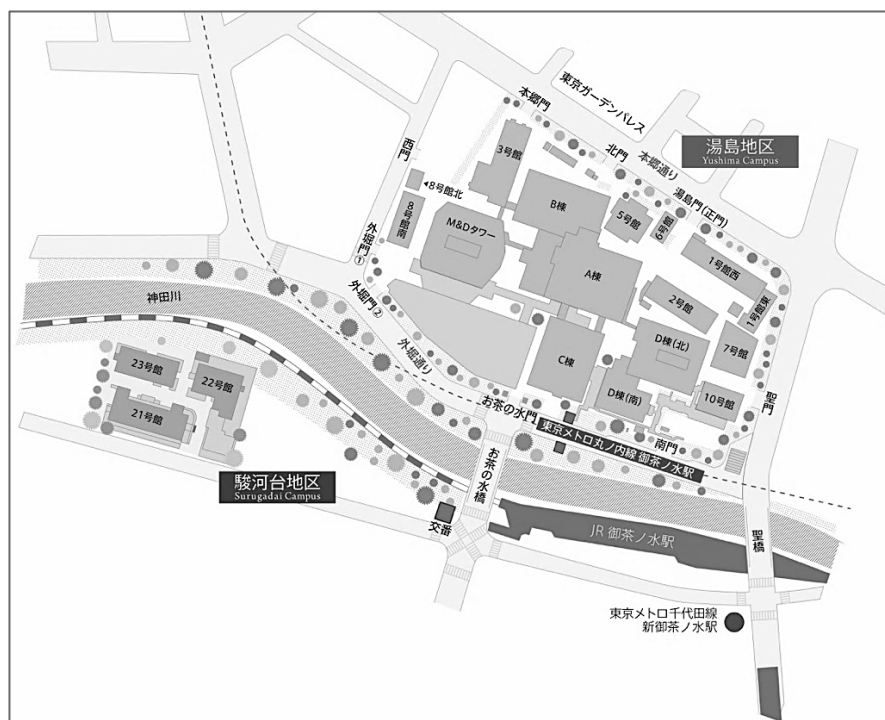
アクセス

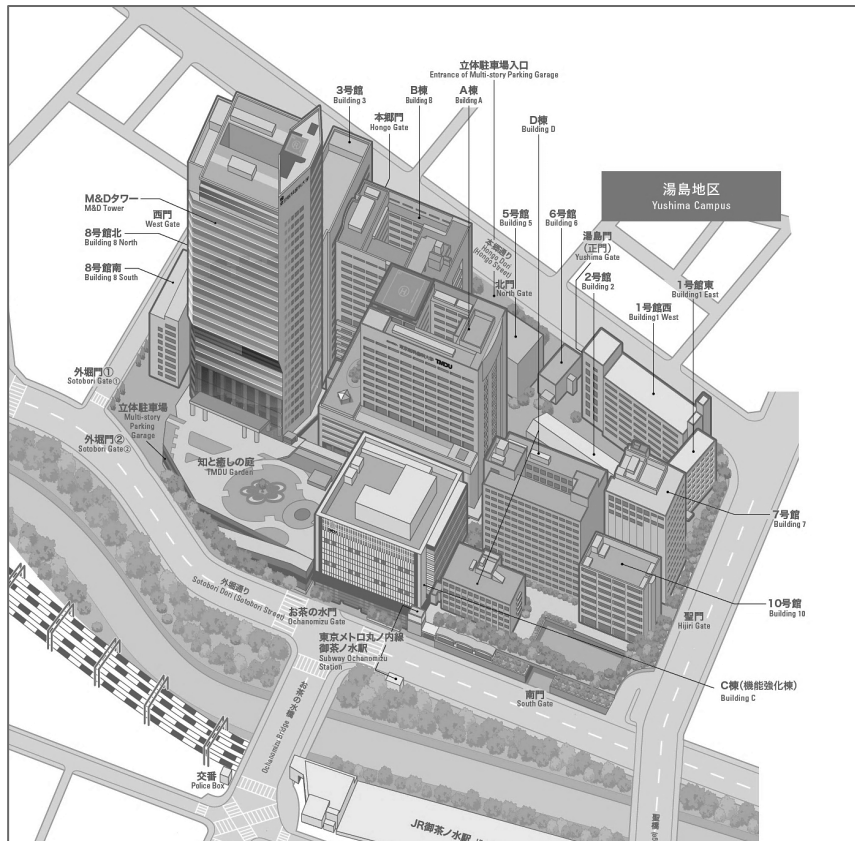
会 場：東京科学大学 鈴木章夫記念講堂（湯島キャンパス M&D タワー）
〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45



最寄り駅

- ・JR 御茶ノ水駅
- ・東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅（淡路町方面ホーム改札直結）
- ・東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅





第 161 回 日本輸血・細胞治療学会 関東甲信越支部例会

メインテーマ：現場で活かす輸血・細胞治療－臨床効果と安全性の最前線－

例会長：大友 直樹（東京科学大学病院 輸血・細胞治療センター）

日時：2026 年 2 月 21 日（土）9：45 ～ 17：00

会場：東京科学大学『鈴木章夫記念講堂』

（文京区湯島 1-5-45 湯島キャンパス M&D タワー）

9:45～9:50

開会挨拶 例会長：大友 直樹（東京科学大学病院 輸血・細胞治療センター）

9:50～10:30

教育講演

座長：大友 直樹（東京科学大学病院 輸血・細胞治療センター）

演者：松本 真弓（神鋼記念病院血液病センター）

EL 「ECP 治療とアフェレーシスナース」

10:30～11:30

シンポジウムⅠ「安全な輸血看護の実践と課題」

座長：石井 洋子（船橋市立医療センター）

S1-1 多段階チェックシステムによる輸血実施の質向上への取り組み

橋口 友恵（JR 東京総合病院）

S1-2 輸血関連インシデントレポートの実態と対応

小林 恵子（長野赤十字病院）

S1-3 当院における臨床輸血看護師の活動報告 ～輸血ラウンド会議の重要性～

山上 佐織（東京都立墨東病院 救命救急センター）

昼休憩（Lunch break）

講堂内は飲食禁止。M&D タワー26 階「ファカルティラウンジ」をご利用ください。

12:20～13:10

一般演題 1

座長：正本 庸介（東京大学医学部附属病院 輸血部）

座長：小嶋 俊介（信州大学医学部附属病院 輸血部）

O-1 新たな *FUT1* 遺伝子変異を有する A 型 para-Bombay の 2 症例

伊佐 和美、他（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

O-2 ABO 副・主副不適合造血幹細胞移植後における A 又は B 糖転移酵素活性について

春原 俊哉、他（長野赤十字病院 輸血部）

O-3 自己血貯血できた慢性大動脈解離合併 myomatous erythrocytosis syndrome の 1 例

藤田 浩、他（東京都立墨東病院 輸血科）

O-4 動員のための filgrastim 投与後に急激な血小板減少により幹細胞採取を中止した悪性リンパ腫の 1 例

田中 圭祐、他（東京科学大学病院 血液内科）

O-5 輸血当日検体による交差適合試験が有用であった ABO 不適合肝移植後の 1 例

若井田 実咲、他（自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部）

O-6 当院における血液型不適合移植後の輸血の安全管理対策

齋藤 光平、他（東邦大学医療センター大森病院 輸血部）

13:10～14:10

一般演題 2

座長：丸山 ゆみ子（東京科学大学病院 輸血・細胞治療センター）

座長：中村 裕樹（順天堂大学医学部附属順天堂医院 輸血・細胞療法室）

O-7 高頻度抗原に対する不規則抗体と類似した反応を示した一症例

鈴木 彩葉、他（東京大学医学部附属病院 輸血部）

O-8 血小板輸血後に不規則抗体が検出された2症例

渡瀬 梨奈、他（東京大学医学部附属病院 輸血部）

O-9 検査タイミングの重要性を示唆した肺癌化学療法中の薬剤性寒冷凝集素症疑いの一症例

古谷 江梨子、他（東京大学医学部附属病院 輸血部）

O-10 超緊急輸血の安全な全院的実施に向けた組織的取り組み－ERでの先行事例（ビブス・アクションカード）の他部署展開とシミュレーションの有用性－

渡邊 奈々、他（湘南鎌倉総合病院 看護部）

O-11 当院での細胞採取業務におけるCEのかかわり

半田 拓巳、他（慶應義塾大学病院 医用工学室）

O-12 当院における血液製剤管理体制改善への取り組み

蓮沼 秀和、他（東邦大学医療センター佐倉病院 輸血部）

O-13 Excel VBAを用いた輸血業務引継ぎ用紙作成システムの開発について

名古 亜未（国家公務員共済組合連合会 立川病院 中央検査科）

14:15～15:00

【特別講演】

座長：大友 直樹（東京科学大学病院 輸血・細胞治療センター）

演者：森下 幸治（東京科学大学病院 救命救急センター）

SL 「外傷診療における止血と輸血戦略」

休憩 (Tea break)

15:10～15:50

アフタヌーンセミナー

〈共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社〉

座長：土岐 典子（東京都立駒込病院 血液内科）

演者：萩原 真紀（横浜市立大学病院 輸血・細胞治療部）

AS 「DLBCLにおけるCAR T細胞療法の運用 ～チーム医療の実践～」

15:55～16:55

シンポジウム II 「血小板輸血の最前線 - 臨床効果・安全性を考える」

座長：梶原 道子（東京科学大学病院 輸血・細胞治療センター）

S2-1 血小板輸血の適応と実際 —血小板製剤の使用ガイドライン 2025 改訂のポイント—

藤原 慎一郎（自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部）

S2-2 血小板不応へ検査からのアプローチ

藤原 孝記（帝京大学大学院 医療技術学研究科 臨床検査学）

S2-3 血小板製剤の細菌スクリーニングと安全性確保

後藤 直子（日本赤十字社 血液事業本部 技術部）

閉会挨拶

例会長：大友 直樹（東京科学大学病院 輸血・細胞治療センター）

支部長：長村 登紀子（東京大学医科学研究所附属病院 セルプロセッシング・輸血部）